



学校だより

とき・あかし錦城

2021年(令和3年)
9月28日(第79号)
明石市立錦城中学校

明石市新人体育大会

校長 谷郷昌弘

9月25日(土)26日(日)の二日間、明石市新人体育大会が開催されました。今年は天候にも恵まれ、最適な気候の下実施できたのは幸いでした。しかし、緊急事態宣言の期間中であるため、完全無観客での開催となりましたこと、たいへん残念に思います

錦城中学校の結果は、男子バレーボール部が準優勝、サッカー5位、剣道男子個人5位、男子ソフトテニスは2ペアがベスト16、女子ソフトテニスも1ペアがベスト16となり、10月16日(土)17日(日)の東播新人大会に出場します。東播大会も無観客での実施となり、保護者の方々の応援がかなわないのが残念ですが、選手は精一杯頑張ってくれと期待しています。また、東播大会に届かなかった種目、選手も最後まで粘り強く競技してくれました。今後、練習に打ち込み、力をつけてよい結果を残す日がきつとくることと思います。

これから10月7日(木)8日(金)に2学期中間考査、14日(木)に体育大会と、まだまだ忙しい日々が続きます。体育大会は平日ではありますが、現在のところ、各家庭につき保護者2名まで観覧可能の予定です。詳細は後日、文書で配布いたしますので、ご確認ください。よろしくお願いいたします。

行事や大会にばかり目が行きがちになりますが、中学生の第1の本分は学習です。授業を大切に、しっかり学力をつけるよう努力しましょう。家庭での学習は学力の定着に不可欠です。その日学んだことを確認して理解できているか、また、明日学ぶことはどんなことかを毎回確認できている人は確実に学力が伸びます。最低限の時間でよいのです。わかったこと、わからないことを確かめる癖をつけましょう。そして、わからないことは先生にかならず伝えて、教えてもらってください。

学習でも部活でも大切なのは「将来の自分の姿」です。どんな人としてどんな生活をおくりたいのか。「なりたい自分」が描ける人は強いですよ。

「わたしは、私。」 — さ、ひっくり返そう —

市内のある中学校の掲示板に貼られた文章です。

『 大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。 』



「— さ、ひっくり返そう —」のとおり、下から読んでください。ある大手百貨店が2020年の元旦に、幕内最小の力士・炎鵬晃をモデルに起用した広告だそうです。ちょっと力が湧いてきました。よーし、ひっくり返そう！

明石市新人体育大会のようす

